

2022年9月22日

長崎県知事 大石賢吾 様

石木川まもり隊 代表 松本美智恵
水問題を考える市民の会 代表代行 篠崎義彦
佐世保の水と石木ダムを考える市民の会 代表 山本了三
#ダムより花を 共同代表 名切沙也香

石木ダム建設に関する面談の要請

私たちは石木ダム利水受益者とされている佐世保市民ですが、石木ダムは不要だと考えています。それは何故なのか、知事と面会して直接お話ししたいという要請書を2回（7月28日と8月23日）提出してきましたが、いずれも「石木ダムに関する訴訟が継続中なので会うことはできない」とのご回答でした。

しかし9月20日、最高裁の決定が報じられました。今や知事と私たちとの面会を遮るものは何もありません。もとより私たちは、「係争中は面会できない」という理由は法的根拠が無いので、3回目の要請をするつもりでしたが、今度こそは応じていただけるとの想いを強くしています。

知事は7月13日に佐世保市を訪れ、『石木ダム建設促進佐世保市民の会』の方々と面談し、9月11日には佐世保市で開催された「石木ダム建設促進大会」に参加し、佐世保市長はじめ多くの推進派の話に耳を傾けておられました。

以前、「どちらか一方の話だけではなく、両方の話を聞きながらしっかりと理解を深めていきたい」と話しておられた知事の頭の中は、石木ダムの利水については、いま片方の話でいっぱいになっているはずで、初心に立ち返り、推進派以外の市民の声にも耳を傾けるべきです。それをせずに事業を強行されるなら、これまでの長崎県政と何ら変わりはありません。

公共事業は本来その事業の利益を受ける地域住民のために行われるはずで、賛成にしろ反対にしろ、受益者の声には等しく耳を傾け、判断すべきです。合意形成の努力を惜しんだ公共事業は、将来に必ず禍根を残します。私たち県民は、民主的な開かれた県政の実現を心から願っています。

【要請事項】

1. 石木ダムの利水受益者である佐世保市民の中で、石木ダムの是非については意見が分かれています。推進派の声は既に何度も聴かれていますので、推進派以外の市民とも面会し、その声に耳を傾けてください。

ご回答は下記連絡先へ、必ず文書で、10月6日（木）までお願いいたします。

連絡先：〒857-0834 佐世保市潮見町 1-30-1311
石木川まもり隊 松本美智恵